

2019 年 8 月 5 日

名古屋市長 河村たかし様

相生山の四季を歩く会事務局 田中眞理
ラブリーアース Japan 事務局 古川善嗣
名古屋市南区豊 4-22-10 052(821)6463
<http://lovelyearth.info/>

世界の「A I O I YAMA」プロジェクト推進のための提案書

市民の合意形成を図るために、「なぜ道路をつくらないと決めたのか」の説明を意見交換会などの場で行うよう、提案いたします。

私たちは「道路廃止・緑地追加」の都市計画変更を支持します。

この立場から、「説明会」「意見交換会」に積極的に参加してきました。私たちとは違う意見にも、あらためて注意を傾けています。

これまでのところ、名古屋市は、道路建設から廃止への方針転換の理由を十分に説明できておりません。「緑地基本計画の素案」の中に盛り込まれた、「園路」にしても「ふれあいの丘」にしても、市民への「方針転換の理由説明」を回避するところから生じたものと、私たちはとらえています。

道路計画から半世紀以上経過し、情勢・状況が変化したことを明らかにすること。名古屋市のような大都会に残った樹林地の大切さを語りかけること。そのようにして、地元はじめ広く市民の理解を得ようと努めないのはなぜでしょう。

加えて、道路工事中止から 10 年以上、市長表明から 4 年半以上、市民への説明をほとんど為してこなかったことが、多くの混乱を生みだしています。たとえば、市の方針の再転換を憶測したり、行政への不信がつのったりしています。

プロジェクト検討会議発足以降も、幾多の労苦が重ねられてきたと推察いたします。それらをムダにしないためにも、ここで出発点を振り返っていただきたく思います。

「理由は、根本的には、E S D もありましたし、どっちかというと産業優先で道路をバカバカ造ってきた名古屋のまちに、自然を大事にしようという精神でいこうと。それが根本です」

(名古屋市ホームページ「平成 26 年 12 月 26 日 市長年末記者会見」より)

名古屋市に期待したい市民に、正面から向き合ってくださいませよう、お願いいたします。

以上